

「シュグノン郡スチョン地区ピトブ村医療センター建設計画」引渡し式

8月23日、宮下大使は、タジキスタン東部に位置するゴルノ・バダフシャン自治州のシュグノン郡を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された医療センター建設プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 宮下大使は挨拶で、「村唯一の医療機関である医療センターが建設され、大変嬉しく思います。この施設と整備された備品によって、患者への医療サービスの質は改善されるでしょう。これらが適切に管理され、長きにわたり使用され、人々に利益をもたらすことを願っています」と述べました。
- 2 総額45,123米ドルの本プロジェクトは、ピトブ村の医療環境改善を目的として、我が国政府が資金を供与し、アガハーン財団タジキスタンにより実施されたものです。案件実施前に同村にあった診療所は2部屋のみと大変小さく、また老朽化が進んだ建物で、水道設備や必要な医療備品も整備されていませんでした。今回、医療センターが新たに建設され、基礎的な医療備品が整備されたことによって、ピトブ村に在住する約1,700名がより良い医療環境を享受できるようになりました。
- 3 引渡し式にはジュマ・ジュマゾダシュグノン郡長及びキシウル・アブドゥルアリショエフアガハーン財団タジキスタン代表をはじめ、医療センター職員や大勢の地域住民が参席しました。郡長及びアガハーン財団代表からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。

